

京都教区時報

第167号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都教区 発行責任者 村上透磨
 編集 カトリックきょうと福音センター 住所 京都市中京区壬生瀬田町26 Tel 822-7123



ステファノ北村善朗師

司 祭 叙 階

1991年3月21日

長浜教会信徒会代表の
お祝いのことば修女連代表曰「林より
「シスターたちにふり回されないように」

お喜びのお母さま



1963年1月19日生
 やぎ座、O型
 滋賀県出身
 趣味は旅行、野山を歩くこと
 今、イコンをつくることに熱
 中しています。



諸聖人の連願



叙階の挨拶

あめでとうございます

北村新司祭に聞く

'91.4.8

叙階式 何年かぶりに泣きました。



「18歳まで滋賀県に住み、そこから大学、神学校と途中下車なしで真っすぐ、真っすぐ司祭への道を歩みました。」と言われる北村新司祭に2、3の質問をしてみます。

——今、こつていることは何ですか。

そんなにこつていることではないけど「イコン」をつくること、一番簡単な方法ですね。貼りつけるだけのもので、なにかのお祝いの時にさし上げています。このイコンの写真がなかなか手に入らないんですよ。

——料理が得意ときいていますが、何でもしますよ。（ここまでは、編集部と親しくなるための軽い質問。ここからは……）

——突然ですが、叙階式はいかがでしたか。

何年かぶりに泣きましたね。私は、わりとたんぱくだから泣かないだろうって言われてたけど本当に何年ぶりかで泣いたね。

叙階式の中で、ひれ伏すでしょ。あれは式の本質じゃないんですよ、大切なのは握手と折りなんだけど本人にとつてはあのひれ伏すのが印象的なんです。回りの人もそうだと思いますが。あのひれ伏す姿は一つの「死」をあらわしているのだそうです。死んで新しい人間になる。招かれるということで、だから叙階式もそれと同じことだと思う。ちょっと恥ずかしいけど

「司祭として誕生するためにはここでひれ伏す、ある意味で「死ぬ」かつたんですね。

ということだなあとと思いましたね。2ヶ月前の古屋司教様の葬儀の時にも思いました。

——司祭ってなんなんでしょうか。

キリスト者であることと司祭であることと、つきつめて考えるとあまりかわらないと思うのね。私も洗礼をうけてキリストの生き方をならおうとしている。司祭も独自の仕事はあるけどやっぱりキリストの生き方にならおうとして生きている者だと思う。第2バチカン公会議前の司祭の、信者の世話をし、ミサをし……という役割だけではないと考えていますが、それじゃ司祭とはどんなものなのか、これからこのことにに関してずっと考えていきたいと思いますね。今、答えは言えないというのが本心です。

——真っすぐに司祭の道を選ばれたということですが、結婚については。

18歳の時、洗礼と同時に司祭になろうと考えたでしょ。だから祭はいたでしょ。だけどこれから少しすつ女性司祭の必要性はでてくると思います。

私はね。わりあいストレートに成長し挫折つてあまり小さい時からないんですよ。だからといって思つて樂天的に考えているんですけど、みなさん、「もの静かで、おとなしい方」と見ていらっしゃるかもしれません。本当はそういうやうなことです。（これは載せないです）

かもしれませんが、今はもうどうでもいいね。今のイメージで当分はいこうと思つてるので）

そして、私がやろうとする、なんでもいい方向に進んでいくんですね。いかない時も、最終的にはいい方向にむかわすんです。

——最後に、結婚について聞かせていただいたので次に「女性司祭」についてはどう思われますか。

そうですね。教会が望めばその方向でいけばいいと思いますよ。社会や教会が必要とみとめるなりいと思いますよ。教会の歴史の中にも司祭はいなかつたけど、助祭はいたでしょ。だけどこれから少しずつ女性司祭の必要性はでてくると思います。

——どうもありがとうございます。私はね。わりあいストレートに成長し挫折つてあまり小さい時からないんですよ。だからといって思つて樂天的に考えているんですけど、みなさん、「もの静かで、おとなしい方」と見ていらっしゃるかもしれません。本当はそういうやうなことです。（これは載せないです）

かもしれませんが、今はもうどうでもいいね。今のイメージで当分はいこうと思つてるので）

そして、私がやろうとする、なんでもいい方向に進んでいくんですね。いかない時も、最終的にはいい方向にむかわすんです。

——最後に、結婚について聞かせていただいたので次に「女性司祭」についてはどう思われますか。

そうですね。教会が望めばその方向でいけばいいと思いますよ。社会や教会が必要とみとめるなりいと思いますよ。教会の歴史の中にも司祭はいなかつたけど、助祭はいたでしょ。だけどこれから少しずつ女性司祭の必要性はでてくると思います。

——どうもありがとうございます。私はね。わりあいストレートに成長し挫折つてあまり小さい時からないんですよ。だからといって思つて樂天的に考えているんですけど、みなさん、「もの静かで、おとなしい方」と見ていらっしゃるかもしれません。本当はそういうやうなことです。（これは載せないです）

かもしれませんが、今はもうどうでもいいね。今のイメージで当分はいこうと思つてるので）

そして、私がやろうとする、なんでもいい方向に進んでいくんですね。いかない時も、最終的にはいい方向にむかわすんです。

——最後に、結婚について聞かせていただいたので次に「女性司祭」についてはどう思われますか。

そうですね。教会が望めばその方向でいけばいいと思いますよ。社会や教会が必要とみとめるなりいと思いますよ。教会の歴史の中にも司祭はいなかつたけど、助祭はいたでしょ。だけどこれから少しずつ女性司祭の必要性はでてくると思います。

聖香油二サ講演会要旨

「福音宣教は家庭から」——講師 小田武彦師(ナイス事務局)

3月27日(水)司祭評議会の主催で講演会が行われた。今回は「福音宣教は家庭から」というテーマで小田武彦師の話を聞いた。

「イエスが宣教活動を始めた時、その最初の言葉は?」とまず質問で始まつた。

「神の国は近づいた。

悔い改めて神の国を信じよ。この『悔い改めよ』

というのが、最初であることに注目してほしい。大人の求道者的人は『悔い改めよ』というのが『まじめになる』と

いうイメージを強くもつ

ている。だが、ここでイ

エスの『悔い改めよ』

いうのは『回心』すると

いうことでイエスと同じ

方向をむくとなる

ある。喜びの便りとなるためにはイエスと同じ方

向をむくことである。それは私た

ち自身がどの方向をむいているかによつて、イエスの言葉が喜びとなるし、憤慨することになる。だからイエスと同じ方向をとろうといふことではないと喜びの便りとはならない。

旧約の時代からイエスの方向は同じであるが、私たちはこのイエスと同じ方向にむくことが難しいことなのである。世界憲章は、「信仰と生活の離れているもの」がピツタリとくるように戦わなければならぬと書いている。

信仰と生活の遊離ということについてはナイス1で考え、話し合われた。このことについて私は次の3つのタイプが考えられると思う。

3つともにしなければ

ならない状況というのもあるので

はないかと思う。だからナイスを

したから解決できるというもので

はない。大事なことは、自分の中

で信仰と生活がピツタリきていな

いということがどういうことなの

か自分自身でみつめてみることだ

う。以上のような講演内容だったと

思ふが、実際に生活している者にとっては、ひどく抽象的な話で、一度この遊離について考え、抽象的な論議をするのではなく、現実の生活の中で一人一人が考えてみたいほし。

次回のナイス2において、もう教会に行くより塾へ行かせる方が大事とひらきなおるような人。3つのタイプに分けてみたが、私たちの生活からどうしてもこのようなタイプのどれかにしなければならない状況というのもあるのではないかと思う。だからナイスをしたから解決できるというものではない。大事なことは、自分の中

で信仰と生活がピツタリきていないということがどういうことなのか自分自身でみつめてみることだと思う。一人一人の現実問題の中でピツタリきていないものをみつめること。そして話し合い自分にとつてなにが問題なのかみつめる

ことも大切だと思う。

さらに、現実問題をミサに持ちこみ、お互い協力しあつて生活と信仰を一致させていく。仲間づくりをしていくこと。また、キリストの復活によつて全ての人々が神の国にまねかれている。その人々

に与えられているのではない

かと思つてはいけないと思つた。

2、みてみぬふりをするタイプ

会社の仕事と信仰とがピツタリ

こないと思っている人。

自他ともにみとめるカトリック信者で家族も全員信者。教会の仕事も、家庭・会社でもバリバリ働き、なんの問題も感じない。

3、ひらきなおるタイプ

例えば、子供の将来を考えると例えれば、子供の将来を考えると

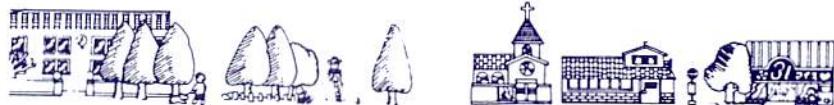
一度この遊離について考え、抽象的な論議をするのではなく、現実の生活の中で一人一人が考えてみたが大事とひらきなおるよう

な視点は家庭という具體的な場を幻想へと導き、遊離をさせた。また、「教会も家族」というような視点は家庭という具體的な場を幻想へと導き、遊離をさせた。終身雇用で家族のこと、家のことなどの心配のない司祭と、毎日今後どうなるのだろうかと考えて生活している者と、この差をどう考えていくのか。もつともつと具体的なことをだして考えていかないといけないよう

に思つた。

取材レポート

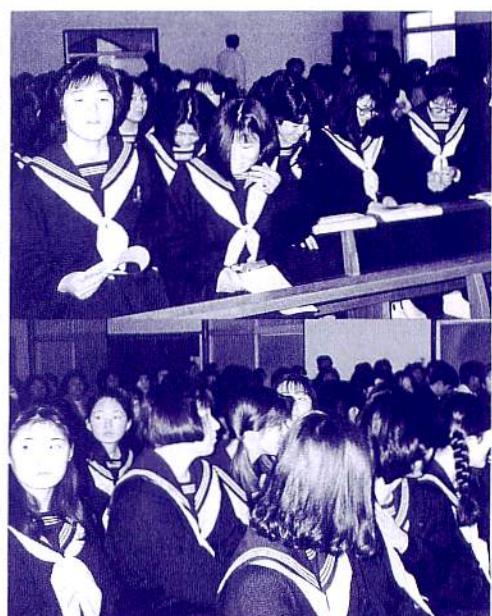
2月10日～17日



はじめて長崎県五島に行つた。地図の上でしか知らなかつた島は私の想像よりはるかに大きな島だつた。朝7時、ある所では5時半、教会の鐘がなる。冬の朝の5時半はまだ真っ暗。教会に入る人は足もとを懐中電燈で照らしながら集まつてくる。聖堂の中では静かに祈りが始まる。ミサが始まると聖堂がいっぱいになつてゐた。

2月10日～17日。長崎・五島の移動信徒の集いに参加した。海からあがつたばかりの魚がテーブルに運ばれる。日頃、新鮮な魚を食べていない私はつい食べすぎてしまう。そして五島に生まれ、ずっとそこで生活し教会奉仕をしているおばあちゃんシスターの心

長崎・五島の 移動信徒の集いに参加して



上五島の集まりで

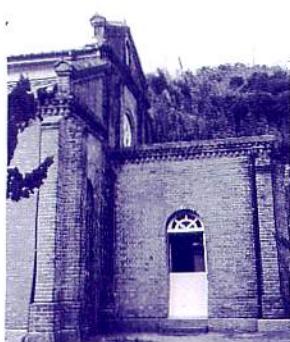
みんな東京・名古屋・大阪方面に行きます。よろしくおねがいします。



「教会にこないから、会社に面会に行くとね、自分がカトリック信者ということを他の人に知られる」と困るから会わない人もあるのよ。でもねそれよりなにより、教会に行く時間がないの。会社の休みが日曜日でない。2交替のところでも働く人は、もつと忙しくてそれどころではないのね。私たちの休む時に働いているの。教会にこないんじやなく、これないの。」とずっと移動信徒のお世話をされているシスターが話してくれた。

私がこんなおもてなしを受け、出会つてきた中・高生はこれから都会に就職・進学し誰がこんなもてなしをしてくれるんだろうかと考えると心苦しい。

移動信徒として今年、東京・名古屋、大阪、その他に就職・進学していく中・高生は五島から150名。京都教区には12名の青年がやつくる。彼、彼女たちの働く場所はそれぞれであるが、労働のきびしい職場に就職する人がほとんどである。出会つた中学生の一人は働きながら定時制高校に行くことがきまつてゐる。昼間2部制のどこ



ろであれば、早朝から昼まで。昼食もゆつくりする間もなく学校へ。また朝、学校の時は、やはり食事はかけ足でして仕事へ。夜間定時制の場合なら早朝から働き、夕方から学校へ。どちらにしても高校卒業までの4年間、一日をかけ足で過ごす毎日なのである。休む間もなくというのは彼、彼女たちにいることばだと思う。

「教会にこないから、会社に面会に行くとね、自分がカトリック信者ということを他の人に知られる」と困るから会わない人もあるのよ。でもねそれよりなにより、教会に行く時間がないの。会社の休みが日曜日でない。2交替のところでも働く人は、もつと忙しくてそれどころではないのね。私たちの休む時に働いているの。教会にこないんじやなく、これないの。」とずっと移動信徒のお世話をされているシスターが話してくれた。



上五島から京都教区へくる5人です。よろしく

下五島での集まりの中で、「これまで両親、神父さん、みんなの支えの中で教会にも行くことができました。これからは都会の中で、一人で信仰を育てていかなければなりません——。」と代表の高校生が挨拶をした。回りには多くのカトリック信者がいて、教会行事に参加することを義務づけられていたところからであるわけである。これまでの環境の中からで、とにかく一人で働くわけである。代表者の言葉は、いろいろなことをふりかえりこれからを思いながら自分自身に言いきかせているよう思えた。

週休2日制がさけばれている昨今。実際に物を生産している人は自分自身に言いきかせているように思えた。

青年たちの思いは、やつと親から離れられる、都会に行つてみたいたなど一人一人の思いはさまざまだと思うが、とにかく都会での生活が始まつたのである。全体に少し消極的にみえた青年たちだが、これからは仲間づくりにも、仕事場での意見、なにごとも積極的につかわってほしいと思う。

週休2日制がさけばれている昨今。実際に物を生産している人は自分自身に言いきかせているように思えた。

青年たちの思いは、やつと親から離れられる、都会に行つてみたいたなど一人一人の思いはさまざまだと思うが、とにかく都会での生活が始まつたのである。全体に少し消極的にみえた青年たちだが、これからは仲間づくりにも、仕事場での意見、なにごとも積

くのカトリック信者がいて、教会行事に参加することを義務づけられていたところからであるわけである。これまでの環境の中からで、とにかく一人で働くわけである。代表者の言葉は、いろいろなことをふりかえりこれからを思いながら自分自身に言いきかせているよう思えた。

週休2日制がさけばれている昨今。実際に物を生産している人は自分自身に言いきかせているように思えた。

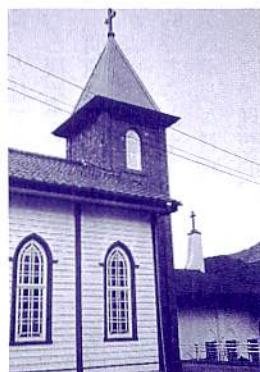
青年たちの現在の状況におどろくとともに、ある意味でもつときびしいものであると私は認識させられた。



京都働く人の家	〒606 京都市南区唐橋川久保町10
滋賀働く人の家	〒520 大津市馬場2-14-12
☎ 0775(672)6569	☎ 0775(22)7627

(文責 水島)

京都教区のみなさんどうぞ、この12名の青年たちのことを、よろしくお願いします。そして、他の地域からやってきた青年たちのことも心にかけ教会で紹介があった時には声をかけてあげて下さい。



25周年 幼きイエス修道会

Sr. 北野希代子
Sr. 大和ひろみ
Sr. クラリア・ハツィ
Sr. ドミニク平田
Sr. ジュリア・マッケーナ
Sr. ステファニ中川
聖母訪問会
善きサマリア人修道会
ノートルダム教育修道女会

カロンデレットの聖ヨゼフ修道会
Sr. メゾ・ポウロ森本茲代
Sr. ミリアム真木栄子
聖母カテキスタ会
Sr. 川上ヤイ
Sr. 岸 札子

ヌーベル愛徳およびキリスト教の教育修道会

Sr. ジョアンナ徐
Sr. ジュディス鎌田
Sr. 木場田幸子
Sr. 柏木慶子
Sr. 高城順子
Sr. 水元文子
Sr. 三輪政子
Sr. ノートルダム教育修道女会

金・銀祝
おめでとうございます
50周年

大阪教区の意見書と同意見

村上透磨

話し合い、意見ください

時報は聴きます

ここに掲載したものは、
「京都教区時報」編集長の村上
透磨師の意見です。
みなさま、この提言についてで
も何でもご意見下さい。

「問題」という事になると、否定的な訴えが多くなる。それも大げなけれども、努力している姿、喜びや希望、ほつとする様な、励みとなる様な分かち合いもあつてもよいと思う。うんざりする様な自慢話は聞きたくないかも知れないが、ぱつと明るくなる様な、希望のある意見もよせられてよい。

福音が喜ばしい音となるために。
それにしてもやはりこの問題「テーマ家庭」に取り組むための何かやむやを少しでも解消しておきたいいくつかの事を述べてみたい。みなさんもそれぞれ自分で整理してみてください。

(1) いろんなかかえている問題の中から、今家庭が最重要で緊急な問題である、とする司教団の考えは解る。しかしそれはどこからその考えが来たのか。

第1回ナイスからか、それともそれとは無関係に司教様達が世相を御覧になり判断されたのか。
「聞き、吸上げ、活かす」それはすばらしい姿勢。
でもどこからか、第1回ナイスから意見を出して来た人達からもか。それとも初めて取組む人達からか。

的でない問題が欠けていいるかも知れない。前者は、また0.だからと言われると、私達のあの思ひと努力はどこに行つたのか。あまた忘れられたかと思うかもしない。(私は少々そう思う)
かと言つて関心のなかつた人に関心をおこさせるためという思いやりは解らぬでもないが……。

「共に」というけれど、一体誰と共になのか、何かそのために、指導者達も、当事者達も、もう少し「共に」への配慮があつてよいのではないか。

(2) 家庭について、大阪教区の意見書と同意見。家庭という問題にしてみると、

「共に」へへの配慮があつてよいので

はないか。

問題の要因をかかえている家庭

がよいとか悪いとか、キリスト教的であるとかないとか、幸福だと不幸とか判断しそうになる。

そこで理想的、模範的家庭の姿を示すのが有効なのかな。でもそのために失望(?)を感じる人もある。

家庭はみな違う。又体験は皆違

う。体験を通して人が語り出すと

自分の考え方決して、ゆずらない。

結果して私の家庭体験で家族のあり方を判断してよいものか。

ついでに司祭は家庭をもたない。

くも膜下出血で倒れたブレンダ・ガルシアさんの医療費を募っています。

ご協力お願いします。

郵便振替口座 京都3-70518

「ブレンダさんの闘病を支える会」

★ブレンダさんは長期滞在で治療費も払えず頼るかもしれません。行政機関は外国人労働者への医療ケアは手つかずです。この問題を通して行政のあり方も再考していきたいと思います。詳しくは、京都アジア文化交流センター「ブレンダさんの闘病を支える会」まで ☎0774-43-8220まで。

そのあたりへの配慮が欠けてい

るかもしれない。前者は、また0.

ぬ。だったら司祭は家庭について

の意見をもてないのか……。

（但し司祭を無視しないという理

由でまず司祭の意見を聞く会を開くという考えもよく解らない。む

しろ信徒の意見を聞く方が先だと

は思うが）

家庭についての心理学者、医者

が多くいても良いけれど、どうも

評論家が多すぎる。評論家的にこ

とを論じてないか。（自分も含め）

最後に、やはりもう少し視点を

しづつたらどうか。

福音宣教していく家庭とか、家

庭の福音化とか、家庭と福音とか、

それでもやっぱり広範囲。そんな

整理を心でしながら、取組へと。

きょうと ◆ しが ◆ なら ◆ みえ

北白川教会(京都南部)

北白川聖ヴィアトール小教区では、昨年来、あたらしい御聖堂を建てようと努めていますが、このたび、新築の資金にしようとテレフォンカードを販売することにいたしました。

図柄は二種類ございまして、現聖堂を外から撮したものと、境内にありますマリア洞(グロット)の聖母像を撮したもの。

五十度数が一枚千円と、少々お高うございますけれど、ご覧くださいば、きっとお気に入っていますけれど、信じております。どうかよろしくご協力たまわりますよう。

なお、お問い合わせは、北白川教会(電話(075)781-588)までお願ひいたします。

企画委員会

教区事務所よりお知らせ
(4月1日付)

滝野正三郎師(唐崎教会)
田辺・精華教会主任
花井拓夫師(桂教会)

西院教会助任
北村善朗師

松本秀友師(西院教会)

北村師と桂教会兼務共同司牧

A・バルデス師(高野教会)

唐崎聖パウロ幼稚園長兼務

西野猛生師(九条教会)
九条教会主任・京都働く人の家

北白川聖ヴィアトール小教区では、昨年来、あたらしい御聖堂を建てようと努めていますが、このたび、新築の資金にしようとテレフォンカードを販売することにいたしました。

図柄は二種類ございまして、現聖堂を外から撮したものと、境内にありますマリア洞(グロット)の聖母像を撮したもの。

五十度数が一枚千円と、少々お高うございますけれど、ご覧くださいば、きっとお気に入っていますけれど、信じております。どうかよろしくご協力たまわりますよう。

なお、お問い合わせは、北白川教会(電話(075)781-588)までお願ひいたします。

企画委員会

教区事務所よりお知らせ
(4月1日付)

滝野正三郎師(唐崎教会)
田辺・精華教会主任
花井拓夫師(桂教会)

西院教会助任
北村善朗師

松本秀友師(西院教会)

北村師と桂教会兼務共同司牧

A・バルデス師(高野教会)

唐崎聖パウロ幼稚園長兼務

西野猛生師(九条教会)
九条教会主任・京都働く人の家



1泊2日の 合宿に 参加して

か香
み実
みず
水
の
野

アジア交流委員会(KYOSIA)

I.A.は、2月23、24日に奈良の郡山教会で合宿を行いました。

23日、土曜日のお昼すぎから集合し、皆で夕飯の準備をし、サモサやカレー、そしてチャイというお茶をいただきました。

カレーはルーなしで作り、香辛料の味がそのまま生かされていて、ピリッとしたおいしさがあります。バングラデシュの人々は普段はスープランを使わず手で食事をします。そこで、私たちも実際に手を使っていただきました。本当は3月にバングラデ

食事がしたかったのですが、湾岸戦争などによる治安不穏のため、行かれなくなり大変残念に思っています。手で苦労しながらも楽しく食事をとったあとミーティングが始まりました。ミーティングに参加するのは2回目だったのですが、運営に関する話題を中心だという印象を持っていました。そして、その話がとても発展的なです。みな、「これからどうする」、「あれがしたいこれがしたい」と、何かをしようという熱意で燃えています。今回のミーティングでは、「アジアと私」というテーマが与えられたのですが、私はまったく自分がアジア人であるという意識を持つていないことに気づきました。アジアと呼ばれる地理的範囲はとても広いです。

京都教区には、他のアジアの国々と交流しているグループがいくつあります。それらが各々で学んだことを持ちよる集いをしてはどうかという話がでました。私はぜひ、これを実現させたいと思いま

お知らせ

教区スケジュール

	5月
5日(日)	結婚相談室（河原町カトリック会館）
6日	豊臣セントショナ・パワーカ会設施 訪問（こひつじの苑）
9日	司祭評議会
12日(日)	ガラシャ祭（味土野）
15日	西野神父のきょうしつくらし（⑦）
18日	部落問題委員会学習会
19日(日)	河原町教会堅信式 安土セミナリオ跡
24～26日	滋賀県合同ミサ 信徒使徒職養成コース
3日	創立記念日ミサ（聖母中学校）
8～9日	宣教司牧評議会
9日(日)	正義と平和協議会現地 研修（高槻市成相地区軍事工場跡）
12～23日	西野神父のきょうしつくらし 青年センター運営委員会
24～28日	司教総会（東京）

23日(日) 小バザー（四日市教会）
子羊会黙想会

'91年平和への歩み 各ブロックの取り組み

滋賀

11月23日(祝)——コース検討申
びわこウォーカソン

5月19日——大和八木教会
「けいはつ」輪読 第7回

6月16日——大和郡山教会
「けいはつ」輪読 第8回

7月14日 AM11時——奈良教会
「聖書からみた正義と平和」

講師 太田道子さん（聖書学者）
8月11日——各教会及び奈良
平和祈願ミサ・映画会（奈良）

9月15日——大和八木教会
ビデオ学習（第1巻前近代篇）

日本歴史と部落問題
10月20日——大和郡山教会
ビデオ学習（第2巻近代篇）

日本の歴史と部落問題
11月17日 AM11時——奈良教会
「釜ヶ崎越冬をひかえて」

講師 Sr. 岳田みさ子さん
12月15日——大和八木教会
ビデオ学習（第3巻現代篇）

日本の歴史と部落問題
10月20日——大和郡山教会
ビデオ学習（第2巻近代篇）

日本の歴史と部落問題
11月17日 AM11時——奈良教会
「釜ヶ崎越冬をひかえて」

講師 Sr. 岳田みさ子さん
12月15日——大和八木教会
ビデオ学習（第3巻現代篇）

日本の歴史と部落問題
10月20日——大和郡山教会
ビデオ学習（第2巻近代篇）

日本の歴史と部落問題
11月17日 AM11時——奈良教会
「釜ヶ崎越冬をひかえて」

講師 Sr. 岳田みさ子さん
12月15日——大和八木教会
ビデオ学習（第3巻現代篇）

日本の歴史と部落問題
10月20日——大和郡山教会
ビデオ学習（第2巻近代篇）

日本の歴史と部落問題
11月17日 AM11時——奈良教会
「釜ヶ崎越冬をひかえて」

講師 Sr. 岳田みさ子さん
12月15日——大和八木教会
ビデオ学習（第3巻現代篇）

日本の歴史と部落問題
10月20日——大和郡山教会
ビデオ学習（第2巻近代篇）

日本の歴史と部落問題
11月17日 AM11時——奈良教会
「釜ヶ崎越冬をひかえて」

講師 Sr. 岳田みさ子さん
12月15日——大和八木教会
ビデオ学習（第3巻現代篇）

京都南部

11月23日(祝)——コース検討申
びわこウォーカソン

▼その他、各小教区ごとに平和
を考える学習会

6月2日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える

7月7日——西舞鶴日星高等学校
平和の大切さを改めて考える

7月14日 AM11時——奈良教会
平和の大切さを改めて考える

7月21日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える

7月28日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える

8月4日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える

8月11日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える

8月18日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える

8月25日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える

9月1日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える

9月8日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える

9月15日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える

9月22日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える

9月29日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える

10月6日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える

10月13日——西舞鶴特別老人ホーム
平和の大切さを改めて考える



0からの出発、素晴らしい。
聴き吸いあげ活かす素晴らしい。

だけどせっかく丹精こめてお捧げ
したものは倉庫の隅か道端に置き
忘れられ。……ああまたか、と地
下のもぐらがつぶやいた。

それでももぐらは絶望しません。